BLUEDOT®

4インチポータブルデジタルテレビ
BTV-400
取扱説明書

はじめに

弊社ポータブルデジタルテレビをご購入いただきまして誠にありがとうございます。
はじめに、この説明書と保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

重要 **初めてご使用になるときは、本機の主電源をオンにし、充電する必要があります。詳しくは21ページ～22ページをご参照ください。**

付属品

本機には、下記の付属品が同梱されています。
梱包を開けて、すべての付属品があるか点検してください。

品名	数量	品名	数量
・ステレオイヤホン	1	・液晶保護用フィルム	1
・ACアダプター	1	・取扱説明書	1
・USBケーブル（給電用）	1	・保証書	1
・ハンドストラップ	1		

◆ 本書の内容や本機の外観、機能、仕様、ファームウエアなどは、改善のため将来予告なく変更することがあります。
◆ 本書の一部またはすべてを弊社に無断で転載/複製することは法律により禁止されています。
◆ 本書および本機の使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、弊社ではその責任を一切負えませんので、あらかじめご了承ください。

もくじ

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例		記号は、注意 をしなければならない内容を表しています。
		記号は、禁止される行為を表しています。
		記号は、行わなければならないことを表しています。

⚠警告

プラグを抜く

異常な状態が見つかったら

万一、煙が出たり、変なにおいや音がしたりするなどの異常が見つかった場合には、すぐに本体の主電源を切り、ACアダプターを接続している場合はコンセントから抜いてください。その上で弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですのでおやめください。

注意

付属のACアダプターは日本国内専用です。

外国での使用で故障した場合は、保証対象外となります。

禁止

付属のACアダプターはAC 100〜240V、50/60Hz以外の電源で使用しない。

指定の電圧以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

ACアダプターは必ず付属品を使う。

付属品以外のものを使用すると、火災の原因となります。

禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となります。

禁止

電源コードは破損しないようにする。

- 上に重いものを載せない。
- ステープルなどでとめない。
- 加工したり、傷つけたり、無理に曲げたりしない。

火災や感電の原因となります。

電源プラグの付着物は取る。

電源プラグにほこりや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。火災や感電の原因となります。

（次ページに続く）

分解禁止

ケース内部を絶対に開けない。

本体やACアダプターのケースは、はずさないでください。火災や感電の原因となります。

※ 本機廃棄時、リサイクルのために電池を取り外す場合は本書の手順に従って、必要なカバーだけを開けてください（49ページの「内蔵バッテリーの取り外しかた」参照）。

禁止

航空機や病院内など、使用を禁止されている場所では使用しない。

航空機や病院など使用を禁止されている場所では主電源を切り、本機を使用しないでください。電子機器や医療機器が誤動作を起こすなど悪影響を与え、重大な事故の原因となることがあります。

禁止

落下した機器は使わない。

落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、まず本体の主電源を切り、ACアダプターを接続している場合はコンセントから抜いた上で、弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

内部に物や水などを入れない。

本体やACアダプターの開口部から内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

禁止

下記の場所に置かない。

・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所。
転倒や落下で、けがをしたり、製品が故障したりする原因となります。

・ 油煙や湯気が当たるところ、湿気やほこりの多い場所。
火災や感電の原因となります。たばこの煙や煙をたく殺虫剤なども故障の原因となることがあります。

・ 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。
熱により本機が変形、変色、劣化したり、故障や火災の原因となります。

・ 寒暖差のはげしい場所。
結露が発生し、火災や感電の原因となります。
また、本機が変形、劣化する原因となることがあります。

水が付かないようにする。

本体やACアダプターの近くに花瓶、植木鉢、コップ、その他水などが入った容器を置いたり、本体の上に乗せたりしないでください。また、台所や屋外などでお使いになる場合は、水が付かないようご注意ください。
水がかかると火災や感電、故障の原因となります。

お風呂場やシャワー室などで利用しない。

お風呂やシャワー室などの水がかかりやすい場所で使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

雷がなり始めたら

ACアダプターには触れないでください。
感電の危険があります。

布や布団でおおわない。

本体やACアダプターを、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、ケースの変形や、火災の原因となります。

車や自転車、オートバイなどの運転中は絶対に視聴や操作をしない。歩行中の視聴や操作をしない。

重大な事故の原因となります。
どうしても操作をしなければならないときは安全な場所に停止してください。運転者以外が視聴するときは、運転者が周囲の音を聞き取れるよう、音量にご注意ください。

改造や、指定の技術者以外の人が修理をしない。

破損や火災、事故の原因となります。
また、メーカーで責任を負うことができず、保証対象外となります。

指定以外の電池は使用しない。

火災や破損、液漏れの原因となります。

（次ページに続く）

充電池は指定の方法で充電する。

間違った方法で充電すると、火災や破損、液漏れの原因となります。

禁止

高温下で充電しない。

炎天下で駐車中の車内など、高温となる場所で充電しないでください。
けがや火災の原因となります。

禁止

電池を加熱、分解したり、火の中に入れない。

破損や破裂をして、けがや火災の原因となります。

⚠注意

禁止

大きな衝撃や力を加えない。

本機を投げたり、ぶつけたり、落としたりするなど、大きな衝撃を与えることはおやめください。ズボンのポケットに入れたり、画面を強く押したりするなど、大きな力を加えないようご注意ください。
破損やけがの原因となります。

プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

禁止

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない。

電源プラグを持って抜いてください。
コードが破損して、火災や感電の原因となります。

禁止

本機から液漏れした場合は液にさわらない。

万一、液晶パネルや充電池が液漏れを起こし、その液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流してください。異常が見られるときは、医師に相談してください。

禁止

通電中の本機を長時間さわらない。

本機の動作中は背面の温度が高くなります。長時間触れていると、低温やけどの原因となることがあります。異常が見られるときは医師にご相談ください。

禁止

機器の上に乗らない。

お子様が機器に乗ったりしないように、ご注意ください。破損やけがの原因となります。

移動するときはACアダプターを取り外す。

けがや火災、感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

ACアダプターの電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

音量に気をつける。

イヤホンをご使用になるときは、音量（ボリューム）が最小であることを確認してから装着してください。耳に取り付けた状態で突然大きな音が出ると、聴力障害の原因となることがあります。イヤホンの長時間使用も聴力に悪影響を及ぼす可能性がありますので、お避けください。

お手入れは必ずACアダプターを外して行う。

破損や感電の原因となります。

ご使用に関する注意

本機は日本国内専用です。

本機は日本国内の携帯機器向け地上デジタルテレビ放送サービス(ワンセグ放送)を受信することを前提に設計された製品です。他国では利用いただけませんので、あらかじめご了承ください。

お手入れ

お手入れにはベンジンなどの化学薬品を使わないでください。表面が変質する原因となります。汚れなどが付いた場合は、柔らかい布で拭いてください。油汚れが付いた場合は、薄めた中性洗剤をやわらかい布に浸して固く絞り、軽く拭き取ってください。

結露について

寒い場所から温かい場所へ急に移動し急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に置いたりすると、湿気が本体の表面や内部に結露することがあります。このまま電源を入れると故障の原因となりますので、本機の電源を入れず、1時間ほど放置し、結露が蒸発したことを確認してからご使用ください。

画素欠陥について

液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。詳しくは、弊社ホームページ(**http://www.bluedot.co.jp/**)をご覧ください。

視聴時の注意

暗い場所で視聴したり、長時間にわたって画面を見続けたりすると、目の疲れや視力低下につながることがあります。暗所での視聴や長時間の凝視は避け、身体に不快感や痛みを覚えたときは視聴をやめて休息を取ってください。身体に異常が見られるときは、医師に相談してください。また、視聴時はイヤホンやスピーカーの音量を上げすぎないよう注意してください。周囲の迷惑になる場合があります。

電波障害について

本機をテレビやラジオなどの電気機器に隣接して設置した場合、映像や音声に雑音が入るなど、互いの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。こうした場合は、できるだけ両者を遠ざけるなどの対策を講じてください。

バックライトの寿命について

バックライトに利用している発光ダイオード（LED）には寿命があります。非常に暗い、点灯しないなど、著しい異常が認められた場合は修理をおすすめいたします。なお、バックライトは消耗品のため、劣化による修理は保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。

著作権について

放送内容を個人で楽しむほかは、権利者に無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

免責事項

補償について

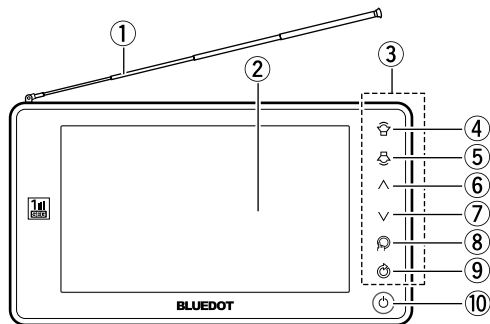
本機および本書の使用により何らかの不具合/故障などが生じた場合、データやその他の損失、および直接的・間接的な損害について、弊社では一切の責任を負うことができません。本機を修理に出されたときも同様です。あらかじめご了承ください。

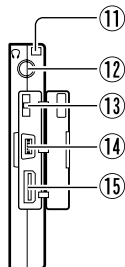
保証修理/交換

保証期間内であっても、取扱説明書や保証書、背面印刷などに記載されている注意事項に沿わない使い方をされたことが原因で故障や破損などが起きた場合、弊社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。

本機を使用する前に

各部の名称

正面

① 収納式ロッド・アンテナ
② カラー TFT 液晶パネル
③ タッチボタン部
④ 音量(＋)ボタン
⑤ 音量(－)ボタン
⑥ 上方向ボタン
⑦ 下方向ボタン
⑧ 決定ボタン
⑨ 戻るボタン
⑩ 電源ボタン

右側面

⑪ ストラップホール

⑫ イヤホン端子

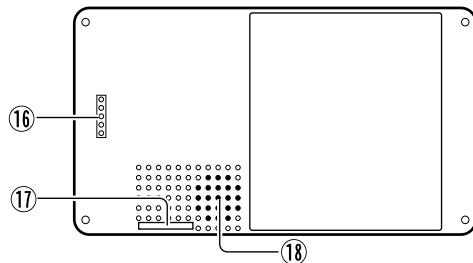
⑬ 主電源スイッチ

⑭ 電源端子※1

⑮ サービス端子※2

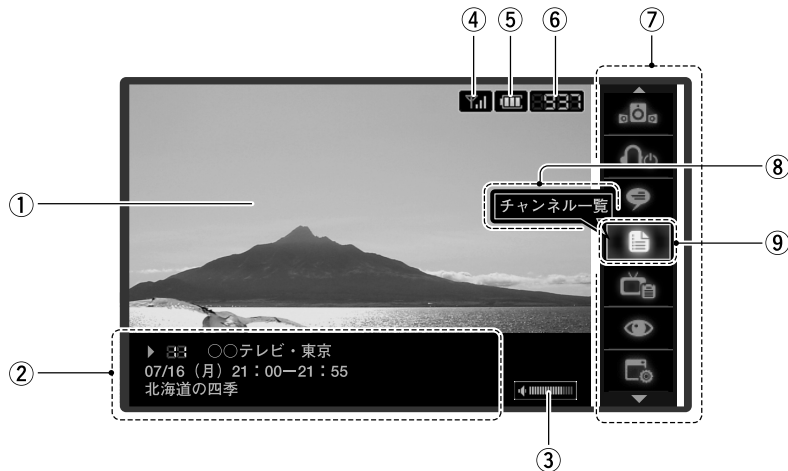
※1 ファームウエア更新時にも利用します。

※2 通常は使用しません。

背面

⑯ 拡張端子

⑰ スタンド溝

⑱ スピーカー

画面表示について

※ 放送局名や、番組名などは表示を理解していただくための例です。
テレビ映像の画面はイメージです。

① テレビ映像

⑦のサブメニューが非表示のときは、映像を全画面で表示します。4：3の映像の場合は左右に黒い帯が出ます。

② 受信中の番組情報

（一行目）チャンネル番号※1／放送局名
（二行目）放送日時
（三行目）番組名

③ 音量表示

音量調節中のみ表示します。

④ 受信状態アイコン

表示／非表示を選択できます。
（46ページの「各種設定」参照）

⑤ 電池残量アイコン

表示／非表示を選択できます。
（46ページの「各種設定」参照）

⑥ 現在時刻※2

表示／非表示を選択できます。
（46ページの「各種設定」参照）

⑦ サブメニュー

⑧ 選択中の機能アイコンの名称

⑨ 選択中の機能アイコン

選択中のアイコンは明るく表示されます。
選択されていないアイコンは暗く表示されます。

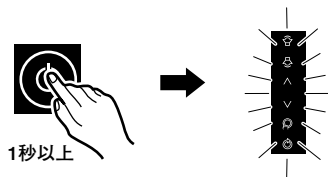
※1 いわゆるリモコンキー識別番号を表示しています。
※2 表示のタイミングおよび時刻の正確さについては48ページの※1にある注意書きをご一読ください。

電源のオンとオフ

本機の電源をオンまたはオフするには通常、電源ボタンを用います。ただし、購入後初めてお使いいただく場合や長期間ご使用になられない場合など、主電源スイッチを操作していただくことがございますので、下記の操作方法をご一読いただき、正しくお使いください。

【通常の操作方法】（電源ボタンを利用する）

＜電源をオンにする＞

タッチボタンのLEDが一瞬点灯するまで電源ボタンを押し続けてください（1秒以上）。画面に「**BLUEDOT**」のロゴが現れ、起動します。

＜電源をオフにする＞

電源ボタンを1秒以上押し続けてください。画面上に「**電源オフ**」の表示が出た後、画面およびタッチボタンのLEDが消灯し、電源が切れます。

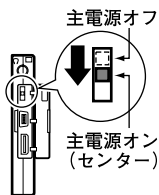
◆ 電源がオンの状態で、電源ボタンを短時間だけ（1秒未満）押すと、タッチボタンのLEDが消灯し、操作が無効になります。解除する方法は、19ページの「**誤操作の防止**」をご参照ください。

【購入後初めてお使いいただくとき/長期間ご使用にならないとき】

(主電源スイッチを利用する)

電池の放電を抑えるため、ご購入直後は主電源スイッチが「主電源オフ」になっています。「主電源オン」の状態にしてから充電および使用を始めてください。また、長期間ご利用にならない場合は、電池の放電を抑えるために、主電源スイッチを「主電源オフ」の状態にすることをおすすめします。なお、操作にあたってはスイッチを破損しないよう、取り扱いにご注意ください。

<主電源をオンにする>

本機右側面のカバーを開けて、主電源スイッチを中央にスライドし、「主電源オン」の状態にしてください。自動的に本機の電源が入り、起動します。

<主電源をオフにする>

本機右側面のカバーを開けて、主電源スイッチを最も上までスライドしてください。内蔵バッテリーの放電を最小限に抑えることができます。

◆スイッチをスライドする際は、最も下までスライドしてしまわないよう、ご注意ください。最も下までスライドすると液晶画面がオフの状態となり、表示が消えます(20ページの「**テレビ音声だけを楽しむ**」参照)。

タッチボタンの操作

本機では各種操作にタッチボタンを利用します。快適にお使いいただくために、下記をご一読ください。

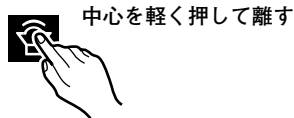
対象となるボタン

- 音量(＋)ボタン
- 音量(－)ボタン
- 上方向ボタン
- 下方向ボタン
- 決定ボタン
- 戻るボタン

重要

タッチボタンの上に液体などの付着物があると誤動作の原因になります。主電源をオフにし、柔らかい布などを使って拭き取ってからお使いください。

ボタンを押すときのコツ

ボタンを押すときは、各ボタンのアイコン（絵）の中心を、指先で軽く触れて、離してください。

- ◆ 長い間押し続けると、ボタンを連打したことになります。
- ◆ 指の「腹」で広範囲を押した場合、隣接するボタンが反応してしまう場合があります。

- ◆ 反応がない場合は、しばらく様子を見てから再度同じボタンを押してみてください。
- ◆ 万一ボタンの挙動がおかしくなった場合は、一度主電源をオフにし、しばらく待ってから再度、主電源をオンの状態に戻してください。

誤操作の防止

本機は、タッチボタンに指や服などが触れて誤操作を起こさないよう、タッチボタンの操作を無効にする「ホールド機能」を備えています。この機能が働いている間は、タッチボタンを押しても反応しません。

ホールド機能を有効(オン)にする

電源がオンの状態で、電源ボタンを短く押す（1秒未満）。
→タッチボタンのLEDが消灯します。

ホールド機能を無効 (オフ)にする

再度電源ボタンを短く押す（1秒未満）。
→タッチボタンのLEDが点灯します。

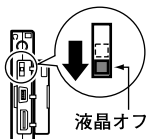
- ◆ ホールド機能を有効にしても、電源ボタンは機能します。
- ◆ ホールド機能を有効にしてタッチボタンのLEDを消灯させると消費電力を節約できます。
本書に記載されている連続視聴時間はLEDを消灯させた場合の時間です。

テレビ音声だけを楽しむ

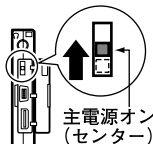
本機は、液晶画面の表示をオフにしてテレビ音声だけをお楽しみいただく「液晶オフ機能」を備えています。歩いているときや画面を見るのに疲れたときなど、テレビ映像の表示が不要なときにお使いいただくと便利です。

液晶オフ機能を有効(オン)にする

電源がオンのときに主電源スイッチを最も下までスライドします。

→タッチボタンのLEDが消灯し、液晶画面がオフになります。

液晶オフ機能を無効（オフ)にする

主電源スイッチを中央に戻します。

→タッチボタンのLEDが点灯し、液晶画面がオンになります。

◆ 液晶オフ機能を有効にした場合、電源ボタンおよびタッチボタンは機能しません。ご使用になる場合は、液晶オフ機能を解除してください。

◆ 液晶オフ機能を使うと消費電力を節約し、内蔵バッテリーによる動作時間を長くすることができます。

◆ 主電源スイッチが最も下にある(液晶オフ)の状態で電源を入れると「**液晶オフモード　解除してください**」との表示が出て、電源が自動的にオフになります。ご使用になるときは、主電源スイッチを中央にスライドしてから再度電源をオンにしてください。

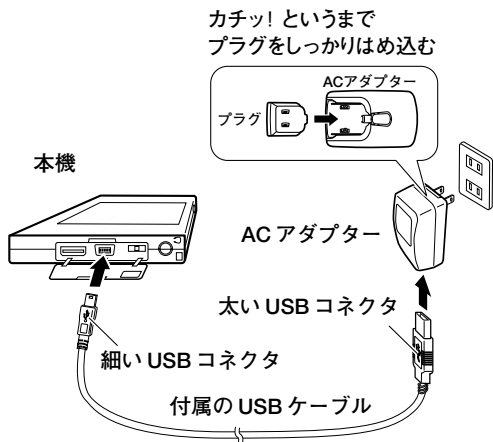
電源の準備

内蔵バッテリーを充電する

ACアダプターを本機に接続すると、内蔵バッテリーに充電することができます。
購入後初めてお使いいただくときや、長期間ご使用にならなかったときは、満充電にしてからご使用ください。

1. 付属のUSBケーブルの太いコネクタ（Aコネクタ）側をACアダプターと、細いコネクタ（miniBコネクタ）側を本機の電源端子と接続します。
2. ACアダプターのプラグをコンセントに接続します。
3. 購入後初めてお使いいただく場合は次ページの枠内の操作を行う。
4. 電源ボタンが点灯し、自動的に充電が始まります。

（次ページに続く）

重要

付属のACアダプターに他のUSB機器を接続したり、本機に他のUSB機器や付属品以外の電源を接続した場合、保証対象外となります。

◆ 充電中は電源ボタンが点灯します。消灯すると充電完了です。

	電源ボタン
充電中	点灯
充電完了	消灯

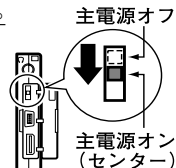
◆ 付属のACアダプターは交流100V～240Vに対応します。（保証対象は国内での交流100V使用のみとなります）

◆ 指定の電圧以外では使わないでください。

◆ 充電中はACアダプターを外さないでください。

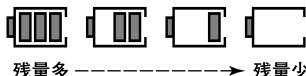
◆ ACアダプターを取り外す前に、本機の電源をオフにしてください。

購入後、初めてお使いいただく場合

本機右側面の主電源スイッチが最も上にスライドした状態（主電源オフ）になっています。21ページの1～2の操作の後、このスイッチを中央（主電源オン）にスライドしてください。オフの状態では充電が始まりません。

主電源をオンにすると、自動的に電源が入ります。充電を継続するには電源ボタンを1秒以上押して、一旦電源をオフにしてください。なお、電源ボタンの操作方法については16ページをご参照ください。

1秒以上

内蔵バッテリーについて

◆ 電池残量は下記の4段階で表現されます。

残量が少なくなったら、バッテリーを充電してください。バッテリー残量がゼロになると、自動的に電源がオフになります。
電源がオフの状態でもバッテリーは少しずつ放電します。長期間ご使用にならなかったときは、満充電にしてご使用ください。

◆ 内蔵バッテリーの充放電時間の目安は以下の通りです。

満充電でワンセグを視聴可能な時間	約4時間※1
残量ゼロから満充電までの充電時間	約3時間※2

※1 液晶の明るさは工場出荷設定／イヤホン使用／タッチボタンのLEDは消灯（ホールド状態→19ページ参照）の場合。
※2 電源がオフの状態で充電した場合。

◆ お客様ご自身がバッテリーを取り外したり、交換することはできません。
◆ バッテリーパックは、周囲温度＋5℃から＋35℃の範囲でご使用ください。
◆ 充放電時間は外部環境で変わります。
◆ 内蔵バッテリーの充電回数の目安は使用状況によって異なりますが、約500回です（保証値ではありません）。
◆ 内蔵バッテリーは使用する回数が増えるほど劣化し、使用可能時間が短くなります。持続時間が著しく短くなった場合は、修理交換をおすすめいたします。
◆ 内蔵バッテリーは消耗品のため、劣化による修理交換は保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。

ワンセグ放送を視聴する

ワンセグについて

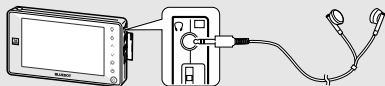
「ワンセグ」とは、携帯機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスの名称です。従来の地上アナログ放送と比較して移動中でも安定して受信できる工夫がなされており、さらに番組表や番組情報、データ放送など、従来の地上アナログ放送にはなかった付加情報サービスを受けることもできます※1。2006年4月1日より放送サービスが始まっており、放送エリアは順次拡大しています。

ワンセグについての詳しい情報は、社団法人 デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページをご覧ください。
http://www.dpa.or.jp/

※1 本機はデータ放送サービスには対応していません。

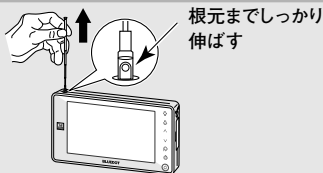
- ◆ ワンセグの放送エリアは広がっていますが、地域または放送局によっては放送していない可能性があります。従来の地上アナログ放送を受信できてもワンセグ放送を受信できるとは限りませんのでご注意ください。
- ◆ 地形や建物などによって電波がさえぎられる場所や電波が弱い場所では受信できないことがあります。トンネル・地下・建物内などで電波が届かない場合は受信できなくなります。
- ◆ ワンセグは携帯機器向けのサービスのため、画面の精細度や動きの滑らかさは従来の地上アナログ放送よりも低くなります。

基本的な操作

本機は、携帯機器向けの地上デジタルテレビ放送サービス(ワンセグ放送)を視聴する機能を備えています。ここでは基本的な操作手順を説明します。その他各種の機能をご利用になる場合は、29ページ以降の「各種の機能を利用する」をご覧ください。

1 付属のステレオイヤホンを接続する。

スピーカーで音声をお楽しみになる場合は、イヤホンを接続しないでください。

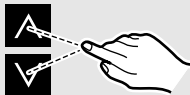
2 本機の電源ボタンを1秒以上押して電源をオンにする。

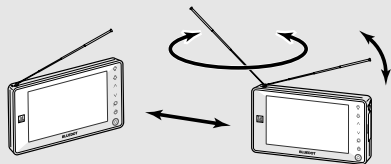
「BLUEDOT」のロゴが表示された後、ワンセグ放送視聴画面に移ります。

3 収納式ロッド・アンテナを引き出す。

◆ アンテナは、最後までしっかり引き伸ばしてください。

◆ アンテナに強い力が加わると破損する可能性があります。ご注意ください。

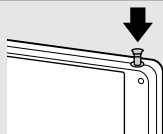
(次ページに続く)

購入後、初めてご使用になるなどチャンネルを登録されていない場合は、ここでまずチャンネル登録を行ってください（30ページの「チャンネルを登録する（チャンネル登録）」を参照）。

4 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押してチャンネルを選択する。

◆ チャンネル切替中は砂時計アイコンが表示されます。切替中に上方向ボタン、下方向ボタンを押すと、順次チャンネルを切り替えることができます。ただし切替中はタッチボタンの反応が画面に表れるまでに少し時間がかかりますので、ボタンを押しすぎないよう、ご注意ください。

5 受信状態が悪い場合は、アンテナの方向や角度、受信場所を変える。

◆ アンテナの角度を変えるときは、折らないようアンテナを最後まで引き出してから、丁寧に角度を変えてください。

6　音量(＋)ボタンまたは音量(－)ボタンを押して、最適な音量に調節する。

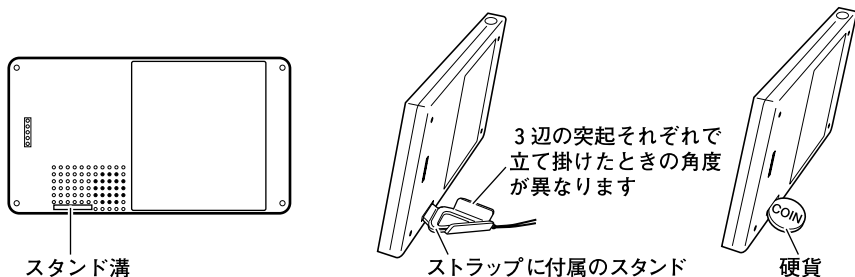
視聴が終わったら…

7　視聴後はアンテナを格納し、電源ボタンを1秒以上押して電源をオフにする。

◆ 受信状態はアンテナアイコンのバー（棒）の数を目安に知ることができます。バーの数が増えるほど、受信状態が良いことを示し、逆に少ないほど、受信状態が悪いことを示します。アンテナアイコンは表示の設定をオンにした場合に表示されます（46ページの「各種設定（設定）」参照）。表示の設定をオフにしても、受信圏外の場合は強制的に表示されます。
なお、電波の受信状態がめまぐるしく変わる場所などでは映像の状態と受信状態の表示が必ずしも一致しないことがありますのでご注意ください。

（受信圏外）

悪い ←――――― 受信状態 ―――――→ 良い

テーブルなどに立て掛けてテレビを見る

付属のハンドストラップの端に付いているプラスチック製のスタンドを本体背面の溝に差し込めば、テレビを立て掛けることができます。また、ストラップがなくても硬貨を同じ溝に差し込めば、スタンド代わりになります。

スタンドの各辺の突起を溝に差し込めるようになっています。突起によって立て掛けた場合の角度が異なるため、お好きな角度をお選びください。

各種の機能を利用する

サブメニューの基本操作

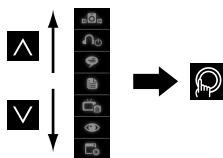
各種の機能はサブメニューから呼び出します。ここではサブメニューの基本的な操作方法について解説します。

① サブメニューを表示する

テレビ映像が全画面で表示されているときに「決定ボタン( )」を押す。

画面右端にサブメニューが表示されます。
(放送局名や番組名、放送時間などの番組情報も確認できます。)

② 機能を選択する

「上方向ボタン( )」または「下方向ボタン( )」で機能を選択し、決定ボタン( )を押す。

機能別の画面に切り替わります。
(「設定」を選んだ場合だけ、設定のサブメニューに切り替わります。)

③ サブメニューを非表示にする。

サブメニューが表示されているときに「戻るボタン( )」を押す。

テレビ映像が全画面で表示されます。
(「設定」のサブメニューが表示されているときには「戻るボタン」を2回押します。)

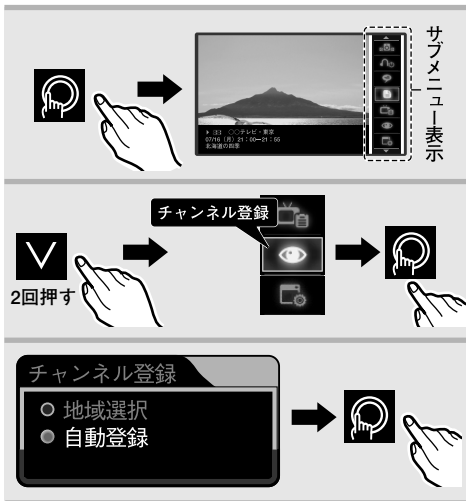
チャンネルを登録する(チャンネル登録)

本機をご利用いただくためには、チャンネル登録が必要です。ご購入後はまず「チャンネル登録」をおすませください。チャンネル編成の異なる地域に移動された場合も同様です。

チャンネル登録には2つの方法があります。

① 地域名でチャンネルを登録する(地域選択)
→お住まいの地域名を選択するだけでチャンネルを登録できます(31ページ〜)

② チャンネルを検索して登録する(自動登録)
→その場所で本機が受信できる最大限のチャンネルを登録できます(34ページ〜)

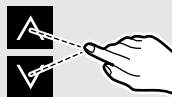
【地域名でチャンネルを登録する（地域選択）】

1 電源がオンの状態で決定ボタンを押し、サブメニューを表示する。

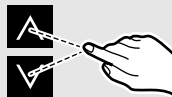
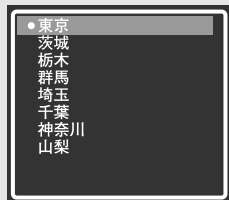
2 下方向ボタンを2回押して「チャンネル登録」のアイコンを選択し、決定ボタンを押す。

3 「地域選択」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

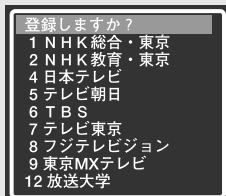
（次ページに続く）

(【地域名でチャンネルを登録する(地域選択)】続き)

4 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して受信地域を選択し、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押すと、前の画面に戻ります。

「関東」を選択した場合

5 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押してより詳細な地域を選択し、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押すと、前の画面に戻ります。

お住まいの地域が登録されていない場合もあります。

「東京」を選択した場合

6　選択地域のチャンネルのリストが表示されます。

戻るボタンを押すと、前の画面に戻ります。

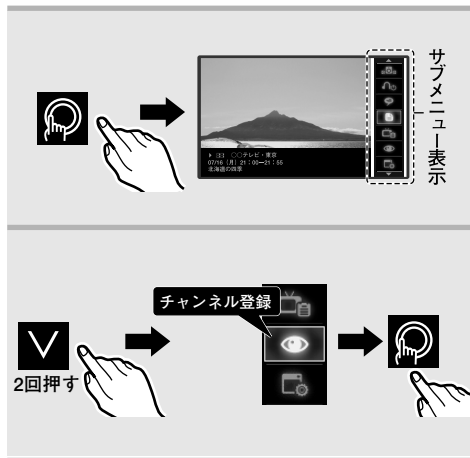
7　決定ボタンを押し、登録を完了する。

登録したチャンネルのリストが再度表示されます。
37ページ「チャンネルリストから選局する」の**3**の手順にしたがって選局してください。

決定ボタンを押してから登録が完了するまでに、しばらく時間がかかります。

◆ 既に登録されているチャンネルがある場合、設定は上書きされます。
◆ 本機は、チャンネルを個別に追加することはできません。
◆ 設定されたチャンネルは地域名を基準としたもので、ご使用の場所で必ず受信できるとは限りません。まだサービスを始めていないチャンネルが登録されている場合もあります。

【チャンネルを検索して登録する(自動登録)】

チャンネル自動登録では、その場所で受信できるチャンネルを探して登録していきます。登録を始める前に収納式ロッド・アンテナを引き出して放送波を受信する準備をしてください。できるだけ多くのチャンネルを登録できるよう、電波の受信状態が良い場所で作業することをおすすめします。

1 電源がオンの状態で決定ボタンを押し、サブメニューを表示する。

2 下方向ボタンを2回押して「チャンネル登録」のアイコンを選択し、決定ボタンを押す。

3 下方向ボタンを1回押して「自動登録」を選ぶ。

戻るボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

4 決定ボタンを押す。

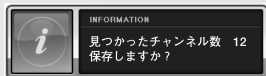
「**自動登録を始めますか？**」というメッセージが表示されます。
戻るボタンを押すと、前の画面に戻ります。

5 登録を始めるには再度、決定ボタンを押す。

「**チャンネル検索中**」と表示され、受信可能なチャンネルを検索していきます。

チャンネル検索を中断する場合は、検索中に戻るボタンを押します。「**検索を中止しました**」「**保存しますか？**」と表示されますので、これまで検索したチャンネルを登録するには決定ボタンを、登録しない場合は戻るボタンを押してください。

（次ページに続く）

(【チャンネルを検索して登録する(自動登録)】続き)

6 チャンネル検索が終了すると最終的に見つかったチャンネル数が表示されます。

チャンネルが見つからなかった場合は「チャンネルが見つかりません」と表示されます。受信状態の良いところで再度登録を行ってください。

7 決定ボタンを押し、登録を完了する。

登録したチャンネルのリストが表示されます。
次ページ「チャンネルリストから選択する」の**3**の手順にしたがって選局してください。

◆ 既に登録されているチャンネルがある場合、設定は上書きされます。
◆ 本機は、チャンネルを個別に追加することはできません。

チャンネルリストから選局する（チャンネル一覧）

登録したチャンネルは、チャンネル一覧から選局できます。テレビの映像が全画面に表示されているときは、上方向ボタンまたは下方向ボタンを使って、チャンネルを順次変えることができます。

1　電源がオンの状態で決定ボタンを押し、サブメニューを表示する。

2　「チャンネル一覧」のアイコンが選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

3　上方向ボタンまたは下方向ボタンを押してチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

リストの一番上には、前回視聴した放送局が配置されます。

番組情報を表示する(番組ガイド)

選択中のチャンネルの番組表や、各番組の内容/解説を表示することができます。表示される情報量は放送局により異なります。

1 電源がオンの状態で決定ボタンを押し、サブメニューを表示する。

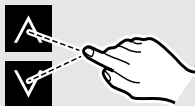
2 下方向ボタンを1回押して「番組ガイド」のアイコンを選択する。

07/16（月）20：00-20：55　BDドキュメンタリ
07/16（月）20：55-21：00　天気予報
07/16（月）21：00-21：55　北海道の四季
07/16（月）21：55-22：00　各地のニュース
07/16（月）22：00-23：00　ニュース＆スポーツ
07/16（月）23：00-23：30　世界の街角

3　決定ボタンを押す。

選択中のチャンネルの番組表が表示されます。

◆ 番組表が表示されるまでに数秒かかる場合があります。

◆ 電波の受信状態が悪い場合､「番組情報を取得できません」というメッセージが表示されることがあります。受信状態が良いところで再度お試しください。

4　上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して表示中の番組を選択する。

戻るボタンを押すと､サブメニューに戻ります。

07/16（月）21:00-21:55

北海道の四季

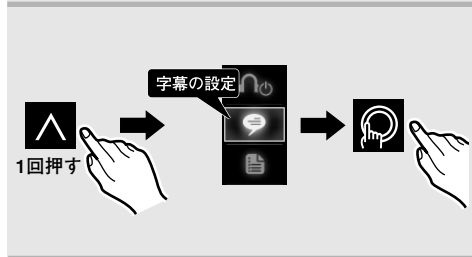
自然あふれる北海道の四季をおって、知床・利尻
・礼文島から函館までさまざまな表情を追う。

5　番組にカーソルを合わせて､決定ボタンを押す。

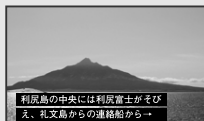
番組内容が表示されます。戻るボタンを押すと､番組表に戻ります。

字幕の表示/非表示を切り替える(字幕の設定)

視聴中の番組に字幕情報が含まれている場合、表示/非表示を選択することができます。

1 電源がオンの状態で決定ボタンを押し、サブメニューを表示する。

2 上方向ボタンを1回押して「字幕の設定」のアイコンを選択し、決定ボタンを押す。

字幕の設定

字幕非表示
字幕表示（重ね表示）
字幕表示（黒帯表示）

字幕表示（重ね表示）

字幕表示（黒帯表示）

3　上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して字幕表示の内容を選ぶ。

字幕を表示する場合は上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「**字幕表示（重ね表示）**」または「**字幕表示（黒帯表示）**」を選択してください。既に字幕を表示していて、非表示にしたい場合は「**字幕非表示**」を選択してください。この画面で戻るボタンを押すと、設定を反映せずにサブメニューに戻ります。

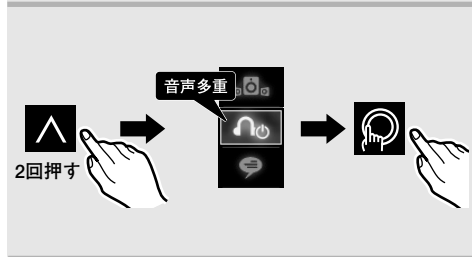
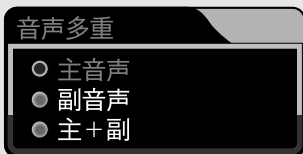
4　決定ボタンを押す。

設定を反映してサブメニューに戻ります。

◆ 視聴中の番組に字幕情報が含まれない場合、字幕を表示する設定にしても字幕は表示されません。

主音声/副音声を切り替える(音声多重)

視聴中の番組が音声多重放送の場合、主音声や副音声を切り替えることができます。

1 電源がオンの状態で決定ボタンを押し、サブメニューを表示する。

2 上方向ボタンを2回押して「音声多重」のアイコンを選択し、決定ボタンを押す。

3　上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して音声多重の内容を選ぶ。

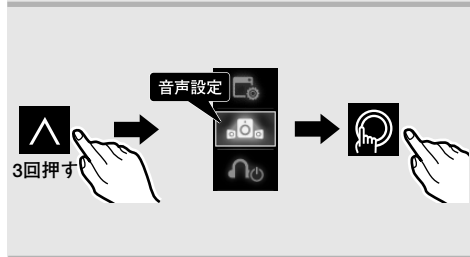
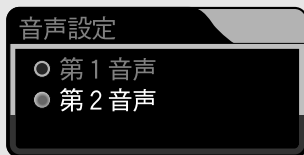
上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「**主音声**」「**副音声**」または「**主＋副**」音声を選択してください。この画面で戻るボタンを押すと、設定を反映せずにサブメニューに戻ります。

4　決定ボタンを押す。

設定を反映してサブメニューに戻ります。

第1音声、第2音声を切り替える(音声設定)

視聴中の番組に複数の音声情報が含まれている場合、切り替えることができます

1 電源がオンの状態で決定ボタンを押し、サブメニューを表示する。

2 上方向ボタンを3回押して「音声設定」のアイコンを選択し、決定ボタンを押す。

3 上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して切り替えたい音声を選ぶ。

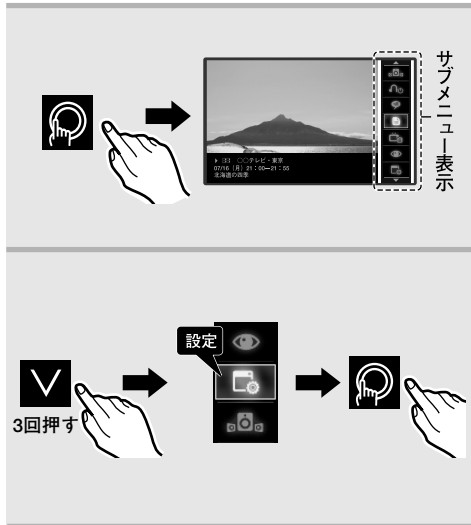
上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して「**第1音声**」「**第2音声**」などを選択してください。この画面で戻るボタンを押すと、設定を反映せずにサブメニューに戻ります。

◆ 音声情報が1つの場合は「第2音声」は表示されません。

4 決定ボタンを押す。

設定を反映してサブメニューに戻ります。

各種設定（設定）

サブメニューの「設定」を選ぶと、各種の設定が行えます。設定の初期化や、表示言語を変更する項目などが含まれますので、誤って設定を変えてしまわないよう、ご利用にあたっては操作方法をしっかりとご確認ください。

1　電源がオンの状態で決定ボタンを押し、サブメニューを表示する。

2　下方向ボタンを3回押して「設定」のアイコンを選択し、決定ボタンを押す。

決定ボタンを押すと、サブメニューが切り替わります。画面右端に右ページの5つの設定アイコンが並びますので、上方向ボタンまたは下方向ボタンを使って所望のアイコンを選択し、決定ボタンを押してください。それぞれの設定画面に入ることができます。

	システム情報		ファームウエアのバージョン番号を表示します。決定ボタンまたは戻るボタンを押すと設定のサブメニューに戻ります。
	表示の設定	受信状態の表示	アンテナアイコンの表示/非表示を設定します。チェックすると画面上にアンテナアイコンが表示されます。設定後、戻るボタンを押すと表示を反映して設定のサブメニューに戻ります。
		電池残量の表示	電池残量アイコンの表示/非表示を設定します。チェックすると画面上に電池残量アイコンが表示されます。戻るボタンを押すと表示を反映して設定のサブメニューに戻ります。
		時計の表示※1	時計の表示/非表示を設定します。チェックすると画面上に時計が表示されます。戻るボタンを押すと表示を反映して設定のサブメニューに戻ります。
	液晶パネル制御	液晶の明るさ	液晶パネルの明るさを設定します。上方向ボタンを押すと輝度が上がり、下方向ボタンを押すと輝度が下がります。輝度は10%～100%の範囲で10%刻みで調節できます。決定ボタンまたは戻るボタンを押すと設定値を反映して設定のサブメニューに戻ります。
	言語設定（Language）		「日本語」または「英語」を選択できます。言語を選択して決定ボタンを押すと言語設定を反映して設定のサブメニューに戻ります。戻るボタンを押すと反映せずに設定のサブメニューに戻ります。
	設定の初期化※2		工場出荷設定に戻します。「リセット」を選択して決定ボタンを押すと設定を工場出荷時の状態に初期化して、自動的に再起動します。「キャンセル」を選んで決定ボタンを押す、または戻るボタンを押すと設定のサブメニューに戻ります。

（※1、※2の補足説明は次ページ）

※1 選局中の放送波から時刻情報を抽出するため、時刻の精度は保証しておりません。また、受信状態の悪い場所では表示されません。時刻情報を含まないチャンネルを受信している場合も表示されません。このため、時刻の常時表示は保証しておりませんので、あらかじめご了承ください。電波の受信状態が不安定な場合は、まれに時計表示が止まったまま消えなくなることがありますのでご注意ください。

※2 次の設定を初期化します(液晶の明るさ、表示の設定、言語設定、音量、字幕設定、チャンネル登録)。

ファームウエアの更新について

より快適にご利用いただくために、発売後、本機のファームウエアを更新する場合があります。ファームウエアの更新にはパソコンおよび付属のUSBケーブルが必要です。
(ファームウエアとは本機に内蔵されている動作用ソフトウエアです)

更新の有無、改善点の内容、更新手順、更新に必要なパソコンの動作環境などの情報は、弊社ホームページ(http://www.bluedot.co.jp/)をご覧ください。

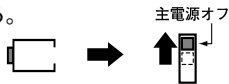
重要

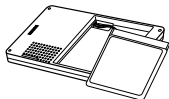
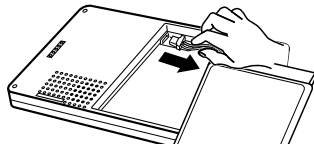
ファームウエアの更新は、必ず本機を満充電の状態にして行ってください。更新に使うパソコンもバッテリー駆動はおやめください。万一更新中に電池残量がゼロになり作業が中断すると、本機が動作不能になる可能性があります。また、ファームウエア更新中にUSBケーブルを外さないでください。同じく、本機が動作不能になる可能性があります。

本機廃棄時のリサイクルについて

内蔵バッテリーの取り外しかた

本機を廃棄する場合、内蔵バッテリーは取り外してリサイクルしてください。
バッテリーを取り外す手順は以下の通りです。廃棄時以外はバッテリーカバーを開けないでください。

1 電池残量がゼロであることを確認し、主電源をオフにする。

2 本機背面のバッテリーカバーのネジ穴のシールをはがし、ネジを2つ外す。

3 バッテリーカバーを外し、
中のバッテリーを静かに取り出す。

4 バッテリーと本機を接続しているコネクターを外す。
少し力を入れて、コードを引くようにして外します。

5 コネクターをテープなどの絶縁物で覆い、電池本体に固定してポリ袋に入れる。

回収先の詳しい情報は、弊社ホームページ（http://www.bluedot.co.jp/）をご覧いただくか、サポートセンター(TEL：048-662-7784、support@bluedot.co.jp)までお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

故障と思われる症状が出た場合、もう一度下の表にしたがって確認してください。

症状	対応	参照ページ
電源が入らない	・電源をオンにする手順が正しいか、再度ご確認ください。	16
	・本機右側面のカバーを開けて、主電源スイッチが「主電源オフ」の状態になっていないか、ご確認ください。	17
	・ACアダプターを接続し、内蔵バッテリーの電池残量をご確認ください。ゼロの場合は、満充電にしてからご使用ください。	21～23
	・内蔵バッテリーが消耗していませんか。消耗している場合は、修理交換を行ってください。なお内蔵バッテリーは消耗品のため、劣化による修理交換は保証期間内であっても有償となります。あらかじめご了承ください。	ー
映像も音声も出ない	・電源がオンになっているか、再度ご確認ください。	16～17
	・液晶オフ機能がオンになっていないか、ご確認ください。オンになっている場合は解除してください。	20
	・電波の受信状態が良いか、画面上のアンテナアイコンでご確認ください。アンテナの本数が少ない場合や受信状態が不安定な場合は受信場所やアンテナの向きを調節してください。	26～27
	・映像や音のない放送ではありませんか。	ー
	・受信中のチャンネルで放送が行われていることをご確認ください。	ー

症状	対応	参照ページ
映像は出るが音が出ない	・音量がゼロになっていないか、ご確認ください。 ・イヤホンを接続していませんか。	27 25
音声は出るが映像が出ない	・液晶オフ機能がオンになっていないか、ご確認ください。オンになっている場合は解除してください。 ・電波の受信状態が良いか、画面上のアンテナアイコンでご確認ください。アンテナの本数が少ない場合や受信状態が不安定な場合は受信場所やアンテナの向きを調節してください。 ・映像のない放送ではありませんか。	20 26〜27 ―
映像や音声が途切れる **ブロック状のノイズが出る** **崩れたような映像が出る**	・電波の受信状況が悪いと、こうした症状が発生します。電波の受信状態を画面上のアンテナアイコンで確認し、アンテナの本数が少ない場合や受信状態が不安定な場合は受信場所やアンテナの向きを調節してください。	26〜27
番組を受信できない	・お住まいの地域でワンセグ放送サービスが始まっているか、ご確認ください。 ・視聴の手順が正しいか、再度ご確認ください。 ・収納式ロッド・アンテナをしっかり伸ばしているか、ご確認ください。	― 25〜27 25

症状	対応	参照ページ
番組を受信できない(続き)	・電波の受信状態が良いか、画面上のアンテナアイコンでご確認ください。アンテナの本数が少ない場合や受信状態が不安定な場合は受信場所やアンテナの向きを調節してください。 ・チャンネル登録をお済ませになっているか、ご確認ください。 ・チャンネル登録を行った地域と異なる地域で視聴していないか、ご確認ください。チャンネル編成は視聴地域により異なるため、視聴地域が変わった場合は再度チャンネル登録を行ってください。	26〜27 30〜36 30〜36
チャンネルと番組が一致しない	・チャンネル登録を行った地域と異なる地域で視聴していないか、ご確認ください。チャンネル編成は視聴地域により異なるため、視聴地域が変わった場合は再度チャンネル登録を行ってください。	30〜36
所望のチャンネルを登録できない	・チャンネル登録の手順が正しいか、再度ご確認ください。 ・チャンネル自動登録の場合、受信状態が悪いチャンネルは登録できない可能性があります。電波の受信状態が良いか、画面上のアンテナアイコンでご確認ください。	30〜36 27, 34〜36
番組ガイドの情報を確認できない	・番組ガイドの表示手順が正しいか、再度ご確認ください。 ・電波の受信状態が良いか、画面上のアンテナアイコンでご確認ください。受信状態が悪い場合、番組ガイドを受信できない場合があります。 ・そのチャンネルで情報を提供していない可能性があります。	38〜39 27 −

症状	対応	参照ページ
字幕が表示されない	・字幕表示をオンにする手順が正しいか、再度ご確認ください。 ・字幕情報のない番組ではありませんか。 ・電波の受信状態が良いか、画面上のアンテナアイコンでご確認ください。受信状態が悪い場合、字幕を表示できない場合があります。	40〜41 ー 27
時計が表示されない	・時計表示の設定が「オン」になっていますか。 ・電波の受信状態が良いか、画面上のアンテナアイコンでご確認ください。受信状態が悪い場合、時計を表示できない場合があります。 ・受信中のチャンネルが時刻情報を送信していない可能性があります。その場合、時計は表示されません。	46〜48 27,48 ー
電池残量アイコンやアンテナアイコンが表示されない	・電池残量アイコンやアンテナアイコンの表示の設定が「オン」になっていますか。	46〜48

故障かな?と思ったら(続き)

症状	対応	参照ページ
タッチボタンがおかしい	**＜タッチボタンが効かない＞**	
	・タッチボタンの操作方法が適切かを、再度ご確認ください。	18
	・ホールド機能(タッチボタンの操作を無効にする機能)または液晶オフ機能がオンになっていないか、ご確認ください。オンになっている場合は、解除してください。	19〜20
	＜タッチボタンが効きにくい＞	
	・チャンネル切替時や電波の受信状態が悪い場所など本機が重い処理を行っている場合、タッチボタンの反応が画面に表れるまでに少し時間がかかる場合があります。こうした状況で繰り返しボタンを押すと、後に操作がすべて反映されて誤操作の原因になります。少し様子を見て反応がないことを確認してから再度同じボタンを押してみてください。	―
	＜タッチボタンの挙動がおかしい＞	
	・タッチボタンの上に、水滴や汚れが付着していないか、ご確認ください。付着している場合は、本機右側面のカバーを開けて主電源スイッチを「主電源オフ」の状態にし、柔らかい布を使って拭き取ってから「主電源オン」の状態に戻してください。	17,18
	・タッチボタンを押していないのに操作が行われるなど、タッチボタンの挙動がおかしい場合は、タッチボタンの設定が何かしらの拍子に変わった可能性があります。本機右側面のカバーを開けて主電源スイッチを一度「主電源オフ」の状態にし、しばらくしてから「主電源オン」の状態に戻してください。症状が変わらない場合はサポートセンターにご連絡ください。	17

症状	対応	参照ページ
ボタン操作を受け付けなくなった	・しばらく様子を見て改善が見られないときは、本機右側面のカバーを開けて主電源スイッチを一度「主電源オフ」の状態にし、しばらくしてから「主電源オン」の状態に戻してください。症状が変わらない場合はサポートセンターにご連絡ください。	17
映像が暗い	・液晶パネルの明るさが低い値に設定されていないか、ご確認ください。 ・バックライトが消耗している場合は、修理交換を行ってください。なおバックライトは消耗品のため、劣化による修理交換は保証期間内であっても有償となります。あらかじめご了承ください。	46〜48 ー
内蔵バッテリーの動作時間が短い	・液晶パネルの明るさが高い値に設定されていませんか。高い値に設定されていると消費電力が増え、内蔵バッテリーによる動作時間が短くなります。 ・内蔵バッテリーが消耗していませんか。消耗している場合は、修理交換を行ってください。なお内蔵バッテリーは消耗品のため、劣化による修理交換は保証期間内であっても有償となります。あらかじめご了承ください。 ・視聴中にタッチボタンのLEDを点灯したままにしていませんか。本書に記載している内蔵バッテリーによる連続視聴時間は、タッチボタンのLEDを消灯させた場合(ホールド機能がオンの状態)の値です。点灯した状態では連続視聴時間が短くなります。 ・音声をスピーカーから出力していませんか。本書に記載している内蔵バッテリーによる連続視聴時間は、イヤホンを使用した場合の値です。スピーカーから音声を出力した場合は連続視聴時間が短くなります。	46〜48 ー 19 ー

症状	対応	参照ページ
充電しない	・充電の手順が正しいか、再度ご確認ください。	21〜23
	・主電源スイッチが「主電源オフ」の状態になっていないか、ご確認ください。オフの状態になっている場合は、「主電源オン」の状態にしてから充電を始めてください。	22
	・内蔵バッテリーが消耗していませんか。消耗している場合は、修理交換を行ってください。なお内蔵バッテリーは消耗品のため、劣化による修理交換は保証期間内であっても有償となります。あらかじめご了承ください。	ー

エラー表示と対処方法

次のエラーが表示された場合は、下記の方法で対処してください。

エラー表示	症状	対処方法	参照ページ
チャンネルが見つかりません	チャンネルの自動登録においてチャンネルを1つも見つけることができませんでした。	電波の受信状態の良い場所で再度自動登録を行うか、地域設定によりチャンネルを登録してください。	**30～36**
番組情報を取得できません **映像を受信していません**	受信状態が悪いなどの理由により、番組情報を取得できませんでした。	電波の受信状態の良い場所で番組ガイドを実行してください。	**38～39**
サポートしていません **映像を受信していません**	受信状態が悪いなどの理由により、音声情報を取得できませんでした。	電波の受信状態の良い場所で音声設定を実行してください。	**44～45**
バッテリー残量がありません **ACアダプターを接続してください**	バッテリー残量がほとんどありません。しばらくすると自動的に電源がオフになります。	ACアダプターを接続してバッテリーを充電してください。	**21～23**
液晶オフモード **解除してください**	主電源スイッチが「液晶オフ」の状態のまま、電源がオンになりました。	本機右側面のカバーを開けて、主電源スイッチを「主電源オン」の状態にしてください。	**20**

製品仕様

型番	BTV-400
液晶パネル	4インチワイド・カラーTFT液晶
画面画素数	480×272画素※1
寸法	126mm×70mm×11mm（突起部を除く）
重さ	約120g（バッテリーを含む）
受信チャンネル	UHF：13ch〜62ch（ISDB－T、1-Segment）
音声出力	イヤホン：20mW＋20mW（ステレオ）、スピーカー：0.8W（モノラル）
接続端子	電源端子：DC5V 1A イヤホン端子：φ3.5mm3極ミニプラグ（インピーダンス16Ω） サービス端子、拡張端子：専用コネクター
外部電源	付属ACアダプター（入力：AC100V-240V 50/60Hz、出力：DC5V 1A）
内蔵電源	Liポリマー充電式バッテリー（約1100mAh）
連続視聴時間	約4時間※2、※3
充電時間	約3時間※2
動作環境	温度：＋5℃〜＋35℃、湿度：30％〜80％（ただし、結露しないこと）

※1 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※2 バッテリーの充放電時間は、周囲の環境や使用条件により異なります。

※3 液晶の明るさは工場出荷設定／イヤホン使用／タッチボタンのLEDは消灯（ホールド状態）の場合。